

2020年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

○「令和の四改革」の推進により、すべての子どもの学ぶ力の向上を図る。

【学校 目標】

○書く・話す・読み解く力の育成……主体的な対話により他者と意見を交流し比較・検討することで学びを深める

【現状と課題】

- 視点1 決まったことにはまじめに取り組むことができるが、積み上げられた習熟度に差があることで、個に応じた基礎的・基本的な知識・技能を習得することや発展的な学習を自ら進めることに課題がある。
- 視点2 学校の決まりを守る、守っているという意識は高いが、自律的に自分で考えて、決めて、実行する能力に課題がある。
- 視点3 授業改善に取り組み、教員個々の指導力の向上は見られるが、学級、学校の実態をとらえ、学校全体で共通理解のもと組織的に実践する取組を継続して行うことが次の課題である。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題意識を高め、学習の見通しをもてる導入の工夫で自らの学びを計画する児童の育成する。</li> <li>○個に応じた少人数による指導や複数教員による指導を行うとともに、放課後、長期休業の補習に取り組むことで基礎学力定着を図る。</li> </ul>	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒指導の3機能を生かした学級集団づくりを進め、すべての子どもが認められているという実感がもてるよう認め、褒め、支える教員の指導力の向上に努める。</li> </ul>	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全校で総合学力調査に取り組むことで、子どもに付けたい力を明確にした、校内研究を計画的に実践する。</li> </ul>

その他 取組事項

県指定事業 ・学びの礎ネットワーク推進事業 ・小学校英語パイオニア実践プロジェクト ・個に応じた少人数指導  
 ・児童生徒の補習や発展的な学習へのサポート事業

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
全体		・保護者評価における「現在わが子は、学校へ行くのを楽しみにしており、生き生きと学校生活を送っていると思う」の肯定的回答90%以上		
視点1	・学習課題につなげる導入の工夫 ・学習状況の的確な把握・評価・補完	・児童評価における「学校の授業はわかりやすい」の強い肯定的回答50%以上		
視点2	・しっかり褒める ・生徒指導の3機能を生かした学級経営	・児童評価における「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の強い肯定的回答50%以上		
視点3	・共通理解のもと校内研究の活性化	・児童の学びの状況の把握したうえで行う授業研究、事前指導等の研究会を全教員が年間最低1回行う		
その他				

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--